

University of Wales Trinity Saint David

月例報告書 2025 May

ついに留学が終わり、この最後の月例報告書は日本で執筆しています。最後の月例報告書は留学を終えて感じたことや留学を通じて得たことを赤裸々に綴ろうかなと思います。



1. 留学を終えて

帰国してしばらく経ちますが、留学を終えて日本に帰ってきた日のことは鮮明に覚えています。8 カ月イギリスで生活していたため、久々の日本はどこか「異国」という雰囲気が存在していて、街並みすらもイギリスとはまったく違うので逆カルチャーショックを経験したようでした。帰国して初めて日本のトイレがとても綺麗で、電車内は驚くほど静かだということに気が付き、懐かしい日本が少し遠い存在になっていたことに少し寂しさも感じましたが、同時に誇らしくも思えました。ただ、やはりイギリスと違ってすれ違う人同士で挨拶をすることもなければ、店内で見知らぬ人同士ラフに会話する人もいません。無事に日本に帰って来られた嬉しさもありましたが、どこかでイギリスの明るい国民性や自由な雰囲気にはもう出会えないのかなと思って寂しくなる気持ち

もあったように思います。

2. 留学で得たこと

留学を終えて、私は今までとは違う分野に興味を持つようになりました。特に、現在3年生で就活が迫っている中、留学は将来自分が何をしたいのかを考えるきっかけになったように思います。留学以前は国際関係の仕事をしたいと漠然と考えていましたが、留学中の授業を通して学んだグリーンテックや持続可能な社会、共生社会などにも興味を持つようになりました。また留学で得た経験を地元での地域振興にも活かしたいという気持ちも強くなり、実際に地域振興にも力を入れている企業のインターンシップに参加しようと計画中です。

3. 留学を考えている人へ

留学を考えているけれど迷っているという人がとても多く、私の友人にもそういう子が何人もいました。確かに、貴重なお金や時間を費やしてそれでも充実した留学生活は保障されておらず、ホームシックやカルチャーショックを経験しながら一人で異国の地で暮らすことは想像もできないようなことだと思います。しかし、そういった環境だからこそ私は自分から積極的に行動して友人を作ったりやったこともない英語でのプレゼンをしたりする時も、うまくできないのは当たり前だからとりあえずやってみようと自然と主体的になれました。

結果的に、それが将来の選択肢を広げ自分に自信がもてるようになったのは事実です。留学に行くことを目的にするのではなく、留学後のプランを考えたり留学中にそれを見つれたりすることを目的とすれば留学に行くべきか否か、自然と分かってくるのではないかと思います。将来を考える上で、留学が一つの選択肢になればうれしいです。

最後に、留学を応援してくれたすべての人に感謝しています！

